

取材に出掛け、カメラを突然向けても、「広報させぼに載るかも知れんけん、良か顔せんばね！」と言って快く撮影に応じてくださる市民の方がたくさんいらっしゃいます。そのお気持ちが嬉しくて気合いが入り、夢中になってシャッターを切り続けていることもしばしば。しかし、いざ広報紙を編集してみると、伝えたい市政情報が満載で、撮影した写真を紹介する紙面が十分に確保できず、「見てがっかりされたかな…」という思いがいつも心をよぎります。今後も編集技術を磨き、より多くの人を紹介できるよう工夫を続けていきますので、取材時には引き続きご協力をお願いします。

ちなみに、広報係が取材した内容は市ホームページ「広報係の取材日記」でも紹介しています。広報紙にない情報もたくさん掲載していますので、ぜひ一度ご覧ください。(H)

元気な朝ごはんレシピ 学生部門アイデア賞
なすのみそマヨ焼き



いいかおり

こんがり

材料・4人分

- なす 1本
- みそ 小さじ1
- マヨネーズ 大さじ2

5分くらいでできる簡単な料理です。マヨネーズは量を減らしてもOKです。

●考えていただいた人 満江有紀さん
(佐世保北中学校3年・当時)



作り方

- ①みそとマヨネーズを混ぜる。
- ②なすは縦半分に切り、さらに1cm幅に切ってアルミホイルに乗せ、①をかける。
- ③オーブントースターで焦げ目が付くまで焼く。

●1人分の栄養価 熱量56kcal、たんぱく質0.8g、脂質4.7g、塩分0.3g



彦左衛門の没年から数えると、この

たことが分かります。

隠居岳(標高六七〇m)の南の中腹にある平松町は、六十五世帯ほどの大半が久野姓ですが、六戸ほどある山下家が最初にこの地に定住したと言えられていきます。地元の久野巳敏氏が平成九年にまとめられた小冊子によると、山下家の初代、山下彦左衛門が亡くなったのが正徳五(一七一五年)。久野家の祖、武部小佐衛門の没年が宝暦五(一七五五年)で、単純に比べると約五十年ほど山下家が早いようです。

山下家の墓地の一角に、風化して壊れた「先祖二百年之碑」が残っています。読み取れる文字は「山下、北野先祖、俗名山下彦左衛門、元我先祖……阿波……此地転……子孫世々……」などです。これから推察すると、現在の山下と北野家は同じ彦左衛門の子孫で、阿波国(徳島県)からやって来られたことが分かります。



彦左衛門の没年から数えると、この

登山シーズンには、眺望の優れた隠居岳に登るハイカーの姿が目立ち、晴天のときは佐賀県の黒髪山系から天山まで、南は大村湾と多良山系まで見える山頂はにぎわいます。登山口には市がウォーカーズパークを設営、家族連れや町内会グループがバーベキューを楽しむ姿が見られます。

集落奥の尾山神社近くには、早岐川の源流になる豊富な湧水があり、人々の暮らしを支えてきました。

歴史散歩
第542回

阿波から来た山下家・平松町

撮影・文・筒井隆義

祖先の碑が建てられたのは明治時代の終わりごろ、一九一〇年前後でしょう。隣接する黒髪町に近い斜面地に住む山下和夫さん(七十二歳)は「父健四郎などから聞いた話では、彦左衛門は山仕事をしていて、この地に移り住み、畑の耕作を始めたのでしよう。同祖の北野家も二戸あります」と話されました。

市長日記

「佐世保史跡探訪」の発刊

このたび、佐世保史談会の皆さんが創立50周年記念事業の一環として、「佐世保史跡探訪」を発刊されました。サブタイトルは「歩く・見る・学ぶ・ふるさと再発見」で、合併した6町を含め、市内500カ所以上に上る史跡を取り上げられています。そして、歩き回る史跡探訪の書にふさわしく、500余りの史跡を18地区に分け、48コースに設定されており、非常に分かりやすく、親しみやすい書に編集されています。

市民の皆さんの中には「佐世保の史跡をもっと知りたいけど、どうすれば場所や由来を調べられるんだろう」と思われている人も多いと思います。この書はそのような人にも、またこれから興味を持つという人にも大変役に立つものと思います。

市民の皆さん！この書を携えて史跡巡りをしてみませんか。きっと新しい発見や出会いがあると思います。

発刊に当たられました佐世保史談会の平川定美会長、そして監修された筒井隆義さん(本紙「歴史散歩」執筆)をはじめ、執筆されました会員の皆さん、本当にありがとうございました。皆さんの丹念な調査と考察、そして足かけ3年にわたるご努力に、心から敬意を表しますとともに、市民を代表してお労いとお礼を申し上げます。

佐世保市長 朝長 則男



「佐世保史跡探訪」 佐世保史談会発行
288ページ 価格1,800円(税込み)
市内書店で販売中です。

ニッポンの今を知り、未来をつくるための調査です。

10月1日は、国勢調査。



イメージキャラクター「センサスくん」

日本に住むすべての人・世帯(外国人を含む)を対象にした国勢調査を実施します。調査の結果は、児童福祉、高齢者の介護・医療、若者の雇用対策など、わたしたちの暮らしのさまざまな分野で役立てられる大切なデータとなります。10月1日のあなたの状況を調査票に記入し、提出してください。ご理解とご協力をお願いします。

調査方法

9月下旬から皆さんの自宅に国勢調査員が伺い、調査票と提出用封筒を配布します。この調査員は総務大臣が任命し、守秘義務が課せられた非常勤国家公務員です。

個人情報の守秘

調査票に記入していただいた内容は、統計の目的以外に使用することはありません。調査票は、外部に漏れないように厳重に管理し、集計が完了し

た後は完全に溶かし、再生紙にします。個人情報の保護は万全です。

今回の主な改善点

- ①調査票は封入して提出していただきます。プライバシー意識の高まりなどから、調査票は封入して提出していただくことになり、調査員が開封することなく市に届けられます。
- ②郵送でも提出できます。時間の都合がつかないなど、希望する人は切手不要の返信用封筒による郵送での提出もできるようになりました。
- ③調査項目の見直し
前回の実施状況を踏まえ、「家計の収入の種類」と「就業時間」の項目は削除されました。

※調査内容などご不明な点は総務省「国勢調査コールセンター」(設置期間9月11日～10月31日)をご利用ください。☎0570-01-2010 (ナビダイヤル)

政策経営課 ☎24-1111